



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。  
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

# JOCオリンピック教室

## 実施報告書

宮城県 仙台市立茂庭台中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会



## 「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和5年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的 : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、  
オリンピック自身の様々な経験を通して  
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、  
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、  
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名 : JOCオリンピック教室
- 主催 : 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援 : スポーツ庁
- 協力 : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象 : 中学2年生
- 講師 : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間 : 2023年4月～2024年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数 : 80校程度
- 実施方法 : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

## 1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、  
チームワーク、フェアプレー、身体を動かす  
ことの楽しさ等を感じてもらいます。



## 2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた  
オリンピックの価値を生徒に伝え、  
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



## 1コマ目

## 運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介  
学習内容の確認



準備体操



主運動  
(作戦タイム等を設け、  
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

## 2コマ目

## 座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ  
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。  
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

### ●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上での調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■オリンピック：楠田 香穂里 先生（バスケットボール）【出場オリンピック／アテネ2004大会】

■期 日：2023年9月13日(水)

■ク ラ ス：2年1組／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・アテネ2004大会にバスケットボール競技で出場したと自己紹介。中学校からバスケットボール競技に取り組み、選手の中では身長が高い方ではなかったが、夢を諦めずに努力し続けたからこそオリンピックに出場することができた。オリンピックバリューについて説明し、運動の時間は皆で協力しルールを守りながら挑戦すること、体を動かしながら3つの言葉の意味を意識してほしい。準備体操は、2人組でバスケットボールを使ったストレッチを行った後、6箇所に分かれてシュート練習を実施。

○主運動等



・主運動は「ボールパス回しリレー＆シュート」を実施(全2回)。クラス全員で、バスケットボールコート外周のライン中央部分からスタートし、ライン上を反時計周りに1個のボールを送る。ボールを持ったら投げたり歩かずに次の人にボールを渡す。ライン上のみ移動することができ、ボールを渡す順番を変えてはいけない。1周したら全員がコートに入りパスをつないでシュートを打つ。ボールを2個追加し、シュートが入ったボールはマーカーの上に置き、3個揃うまでのタイムを競う。



・運動の時間を振り返り、2人組でバスケットボールを使ったストレッチを行った際にボールを取って来てくれた人に、ありがとうと感謝の気持ちを伝えている場面があり、普段から感謝を言葉に出して表していることは素晴らしい。授業の冒頭に伝えたオリンピックバリューの3つの価値について、皆が意識して取り組んでいた。運動の時間に感じたオリンピックバリューについて、どのように繋がっていたのか等、次の座学の時間で一緒に考えていきたいと話し、授業終了。

■ **オリンピック**：楠田 香穂里 先生 (バスケットボール) 【出場オリンピック／アテネ2004大会】

■ **期 日**：2023年9月13日(水)

■ **ク ラ ス**：2年1組／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・競技映像を見ながら、アテネ2004大会にバスケットボール競技で出場したと自己紹介。オリンピックバリューについて、エクセレンス：「卓越」「努力する」、フレンドシップ：「友情」「仲間」、リスペクト：「敬意/尊重」「感謝」と説明。先輩がアトランタ1996大会に出場したことで憧れを持ち、自分もオリンピック出場を目指すことにした。自ら1日1000本シュート等の課題を決めて毎日の練習を積み重ね、大怪我もあったが途中で諦めずに努力することができたのは、オリンピック出場の夢があったからだ。

○個人ワーク～グループワーク等



発問：運動の時間を振り返り、自分達が取り組んだことをオリンピックバリューに当てはめてみよう。  
 発表：エクセレンス：「タイムを縮めるために考える」「シュートを決める努力する」「ボール回しを頑張る」等  
 フレンドシップ：「シュートする人を応援する」「拍手と声掛けで応援する」「相手を取りやすいようにボールを渡す」等  
 リスペクト：「シュートを決めた人に拍手をする」「ボールを取って来てくれた人に感謝」「シュートを決めた人に感謝」等



・座学の時間を振り返り、発表内容を聞き、今後に生かせるものが沢山あったと思う。皆が先生に対して注目し、静かに話を聞いてくれたことはリスペクトに当てはまり、皆に感謝している。人は1人では生きてはいけず、人との繋がりを持って生活していくので、見返りを求めずに思いやりを持って自発的に協力してほしい。皆も夢や目標を持ち、クラスメイトを大切に、オリンピックバリューを生かしながら今日の授業を糧に活躍してほしいと話し、授業終了。

■修了証贈呈

